

5歳児6月「とろとろアイス」

水をもう少しだけ足して

ホームページでは写真を公開しておりません。ご了承ください。

環境の探究とは？

発達に合わせた環境で育む 探究心

窓続きで保育室から出ることができ「テラス」での遊び。草花や石鹸を使った、所謂ままごと遊びが4月から続いていた。しかし、「ままごと」と一括りにするにはあまりにも勿体ない。

子供の遊びがいかに個別的かつ具体的で、一人一人の思いと創造性に溢れているということに気付いている大人であれば、これを安易に「ままごと」とは呼ばないだろう。

A児たちはアイスづくりのイメージで遊んでいた。ある日、A児が「とろとろのアイスにしたい」と呟くと、「とろとろかあ。本当に固めたいなあ」とB児。傍でそのやりとりを聞いていた保育者は、面白いことを考えるなあと感じながら「とろとろアイスおいしそう」と声をかけた。次の日、(教材研究を経た)保育者が「これ(トイレットペーパー)はどう?」と提案。子供たちは途端に「面白そう」と目を丸くし、とろとろ具合の試行錯誤に夢中になった。

ペットボトルで作った透明グラス



水×草花×保冷剤

その後7月に入った頃には、イメージがさらに広がりジュース屋さんに展開。C児は鉢植えの下に落ちた花びらを拾って集めて(写真・中)、D児と一緒に色水づくり(写真・右)。保育者は「子供たちが楽しんでいることに没頭し、ジュースのイメージを具現化しながら遊ぶことができるように」と願い、素材・道具・場の構成への探究を続けた。子供たちは、5歳児のテラスにだけある(5歳児専用の)製菓用具やキッチン用具などを使いながら、ジュースづくりのイメージをどんどん広げていく。「トロピカルジュースができた」「あわあわビール」、いろいろなジュースが出揃ったとき(写真・左)、ちょうど明日が祖父母参観の日という巡り合わせ。次の日、特製のジュースが振舞われると「わあ、美味しそう」と祖父たち。この日は、大好きなおじいちゃんやおばあちゃんと一緒にジュースづくりを楽しんだ。

保育者のこがすこい 環境の探究

環境の重要性については前号でも触れてきました。幼児教育の基本である「環境を通して行う教育」であることに立ち返れば、この環境への探究は、必然的に保育者に求められる専門的かつ重要な姿勢であると言えます。本事例の保育者は、発達の姿が必ずしも一様ではないことに配慮しつつ、その子の関心事や育とうとしていたことを日頃から丁寧に見取っています。素材や道具の使い方を一方的に決めつけず、生活に委ねることを心掛けています。生活を経験して大人としてその子(が経験していること)を複線的・多面的・継続的に見取り、深い子供理解のもとで実践される援助の一つ一つは、その子の自己発揮を力強く支え、温かく後押しします。

ちよこことメモ



生活に欠かすことのできない水は、遊びにも重要な環境の一つです。さて、「水遊び」といえる何を連想するでしょうか。真っ先に思い浮かぶような「プール」は、幼稚園教育要領解説には意外にも記載がありません。保育指針解説では「プールの活動及び水遊び」と、区別した表現をしています。要領指針に共通するのは、水を汲む・運ぶ・混ぜる等の直接体験を通して様々な感覚を楽しんだり、諸感覚をたっぶり働かせながら水の特性や事象の面白さに気付いたりするなどの「遊び込む経験」が、心身の発達に非常に重要であるといった趣旨です。どこでもありそうな「素材」を、子供の要領指針の言葉をヒントに、子供一人一人の自己発揮を支えるための環境の探究を、始めていきましょう。

ちよこことメモ



5歳児のこがすこい 科学の心

3歳以降は知的興味が高まる時期です。さらに5歳児後半にかけては好奇心や探究心が一層高まり、関心のあることについてもっと知りたいと思うたり、本物らしく見たいと考え工夫したりする姿が見られるようになります。遊びが楽しめるには、その子たちの見立てやイメージ(空想・想像・発想、思い)が巧みですが、同時に物の性質や事象の面白さも、よく重ならないことで、遊びはさらに展開していきます。A児の「とろとろにしたい」という思いを丁寧に受け止め、育とうとしていた探究心を、環境を通して間接的に援助した保育者。子供たちは、アイスづくりの目的の中で「水×○○」が起す事象の面白さに夢中になり、水加減等、試行錯誤する楽しさを味わいました。そしてそこからさらに、遊びへの発想を一段と広げていったのです。言うまでもなく、この時期に大切なことは科学的に正しい法則の発見を求めることではありません。大抵の遊びは、自発的な活動として子供自身が対象に働きかけ、試行錯誤する面白さや規則性を見つけて喜びをその子なりに感じ、充実感や自己存在感を味わっていくことを通して、自分の力でやってみようと考えたり関わったりしていく態度を育てていくことです。

アンケートご協力をお願い 右の2次元コードを読み取るかクリックで回答をお願いします



発行元 山形県教育局義務教育課 023-630-3416 kuraokat@pref.yamagata.jp ※1:本通信における「幼小」は、「幼児教育と小学校教育」の略称として使用

